

県議員 奥村のり子の
読者ニュース

2015年11月29日 第199号

—奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



12月2日、県議会開会

一般質問と決算反対討論に立ちます

十二月二日から十八日まで十二月議会が開催されます。予定案件は補正予算案二件、条例案件十件、その他二十三件と委任専決報告の六件です。私の一般質問は九日または一〇日を希望しています。十五、十六日は総務委員会がおこなわれ。十七日は、2014年度の決算の認定に対する反対討論に立ちます。事前に総務学事課から説明を受けたなかで気になることは、マイナンバーの導入に伴う条例の一部改正や、すみれホーム等の児童福祉施設の譲渡、わかやま館の会議室(第1第2)の廃止の条例案などが提案されることです。県民生活にとっての問題点など充分議論すべきです。ぜひご意見お寄せ下さい。左の写真は25日沖縄の紀乃国の塔での慰霊祭出席前に、対馬丸記念館と慰霊碑に立ち寄ったものです。(奥村のり子)

警視庁機動隊が沖縄住民を弾圧税金を食っている者が納税者苛め

沖縄県に翁長雄志知事が誕生して1年を迎えました。「辺野古に新基地は造らせないと自らの公約を貫く姿勢に感動です。自民党県連幹事長も務めた翁長氏だけに、首相官邸も「いずれ公約を撤回する」と期待していたが、公約通り辺野古埋め立て承認取り消しに踏みきました。工事強行を狙う安倍政権は、警視庁から屈強な精鋭部隊約130人を11月4日から派遣。16日、基地建設反対で座り込む住民らに襲いかかり、手足を乱暴につかんで体をもちあげて次々拘束したり、「痛い、痛い」と叫ぶ高齢の女性にも情け容赦なし、倒れた人を無理やり引きずり排除するなど問答無用の蛮行です。機動隊には『鬼の4機』というコワモテの第4機動隊もいるらしい。安倍内閣官房副官には警察庁警備局長出身者がいるから指示があれば飛んでくるのだろう。

ナント、警視庁機動隊の宿泊先は沖縄県内有数の名護市のリゾートホテルだと。ゴルフ場、テニスコート、プールもあります。機動隊員の給与や交通費、宿泊費はもちろん国民の税金です。そんな連中が、長年基地によって数多くの事件、事故で痛めつけられた沖縄の住民を弾圧する権利はあるのか!金で生活している者が罪もない納税者を苦しめる現実。こんな安倍暴走に怒り心頭です。(日刊赤旗11月18日15面引用)編集室)

のり子の週刊日誌—主なもの—

- 11月27日 河西後援会バスツアー
- 28日 戦争法廃止集会、国賠記念集会
- 29日 議会準備
- 30日 庁内訪問、地域訪問
- 12月 1日 十一月議会開会
- 2日 無料生活相談、学習会(議案調査)、国体感謝のしるし
- 3日

戦争法廃止の署名にご協力下さい

戦争法に反対したさまざまな団体などが、「戦争法の廃止を求める統一署名」を日本全国で二千万筆めざし行動を開始しています。共産党では先週の「しんぶん赤旗」に用紙を織り込みさせて頂きました。ぜひご協力をお願いいたします。集めた署名は赤旗集金者や議員、党事務所などにお届け下さい。



「子ども食堂」の試み

いま日本では、教育の格差、貧困の連鎖が広がり、子どもの6人に1人が貧困状態にあります。そういった状況にある子どもたちに美味しい食事・幸せな時間・地域とのつながりを無料や格安で提供する「子ども食堂」の試みが全国で広がっています。

先日、紀の川市で行われた「子どもの貧困について考える講演会」に参加した際、和歌山市内での「子ども食堂」を立ち上げた方が取り組みを紹介してくださいました。学生ボランティアも一緒に、地域の子どもたちがホッとできる居場所になつている様子が見えてくるよう

子どもの貧困について考える講演会



11月22日、紀の川市で「子どもの声が聞こえますか」と講演した田村智子参院議員(右)とともに

見ただけでは助けが必要かわからない貧困家庭が増えているなか、地域や学校、行政など連携をとりながら支援につなげていくことが重要です。

簡単なことではないけれど、みんながアンテナを高くし、どの子も安心して育つことができる社会をつくっていききたいと思います。(次号は大門参院議員です)

党参院選挙区
予定候補

坂口多美子

